

第2期高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係る パブリックコメント結果について

1. 結果

- 実施期間：令和元年12月3日（火）～令和2年1月10日（金）
- 公表方法：町役場企画課、図書館3館及び町ホームページでの閲覧
- 集計：提出された意見 - 1名（3件）
（※意見は要約しています。）

2. 意見の概要と町の考え方

No.	意見の概要	町の考え方
1	<p>第1期総合戦略の総括が冒頭にあるべき。4つの基本目標の実績と達成度、課題を明確にすることが必要。難易度の高い項目も時間は掛るかもしれないが確実に成果として積み上げて当初目標を達成すべく継続的に展開する事で『暮らし高まるたかねざわ』になると思う。</p> <p>いつの間にか基本目標がうやむやになって消滅する様なことはあってはならない。短期戦略、長期戦略にしてもPDCAを確実に回してやりきる気概が重要ではないか。行政の透明性を切に望む。</p>	<p>町では、総合戦略の実績・進捗状況を毎年度取りまとめ、ホームページで公表しております。公表している内容は、総合戦略に係る地方創生関連交付金事業の実績及び、総合戦略の4つの基本目標と関連する施策の実績を、それぞれに設定している評価指標（目標値）の達成状況と併せてまとめたものです。</p> <p>これらの実績は、PDCAサイクルのもと翌年度の事業展開に繋げることであり、第2期総合戦略の策定にあたってその内容を勘案しています。</p> <p>第2期総合戦略についても、前述のとおり年度ごとに実績・進捗状況の取りまとめを行い、その内容を随時町民の皆さまへ公表していく予定です。</p>
2	<p>地域創生戦略は地域住民も自ら行動してこそ地域の活性化が実現できると考える。町長、役場職員は町民の本音を引き出すことに努力すべき。役場からの情報発信量が少ないから町民の行政への関心が高まらないと考える。『広報たかねざわ』に大きなテーマや町民の注目度の高い行政施策を継続的に掲載すべきではないか。</p>	<p>第2期総合戦略では、取組目標として「人口の自然増加」を掲げています。策定にあたり、町内で子育てをされている方々が町の子育てや教育に関する取組についてどのようにお考えになられているかを把握するため、アンケート調査を実施しました。</p> <p>また、産・官・学・金・民の代表者で構成する総合戦略推進会議を開催し、それぞれの知見からのご意見をいただきました。そして、多くの町民の皆さんからご意見を伺うため、パブリックコメントを実施したところです。</p>

		<p>このような中で、子育て世帯へのアンケート調査の結果から、必要な情報が、当事者である子育て世帯の皆さんにきちんと届いていないということがわかりました。今後も引き続き、情報発信力の強化を図っていきたいと考えております。</p>
3	<p>宇大生が行ったタカラボや地域おこし協力隊の活動、3年程前に役場の若手職員による自己啓発活動をより大きく育てるつもりはないか？ 更に、これらの活動を町民と共有して連携させれば町民の意識改革につながると考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、宇都宮大学の生徒による「たカラボ」や、昨年度まで活動してくれた「地域おこし協力隊」、さらに、役場の若手職員につきましては、それぞれの立場からの自由な発意・発想によって、さまざまなアイデアの提案と活動をしてくれました。</p> <p>これらの活動は、町に新しい風を吹き込み、何かを始めるための「きっかけ」となりました。</p> <p>それらのきっかけから始まったとも言うべき、「駅前のマーケット」や「たかねざわロックサイドマーケット」、「クリエイターズデパートメント」等の取組は、町の交流人口獲得や創業支援へと繋がり、さらには、令和2年4月にリニューアルオープンする「道の駅 たかねざわ 元気あっぷむら」での関係人口創出の取組へと繋がるものと考えております。</p>